|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 体験型プログラム⑥（40～60分） | | | | 学童期～思春期・読書教育 | | |
| **「好きな本年表」をつくろう** | | | | | | |
| 本プログラムのねらい | | |  | | 期待される効果 |  |
| ◎「好きな本年表」づくりを通して、自分や我が子の成長を改めて実感することができる。  ○今後の本との関わり方について、親子で考える機会を持つことができる。 | | | | | ○本の良さや魅力について、子供とゆっくり話したいと願う保護者にとって、親子の成長を実感することができるようになる。 | |
|  | | | | | | |
| 活動の様子 | 年表に従って、親と子が好きだった本を書き入れ、感想を交流する。 | | | | | |
| http://kids.wanpug.com/illust/illust4180.png  よその家庭での親子の読書経験を聞くと、知らなかった本もあって、読んでみたくなったわ。  うちの子が入学前に読んでいた本って、どんな本だったかな。  自分が子供の頃に面白いと思って読んでいた本を、息子も夢中になって読んでいたなあ。  http://kids.wanpug.com/illust/illust3491.png  http://kids.wanpug.com/illust/illust2058.png  【準備物等】  ○ワークシート  　※参加者の子供の年齢に合わせて修正しておく。 | | | | | | |
| 主な流れ | |  | | | | |
| １　年表に従って、親の欄には親自身がその当時好きだった本を、子供の欄には子供自身が好きだった本を年代ごとに書き入れる。  ２　（３～４人グループで）参加者同士が作成した年表を見せ合いながら、親子で好きだった本などについて感想を交流する。  　※お互いの紹介を聞いて、本についての質問などをして感想を交流する。  ３　（時間があれば）グループごとに、どのような感想を交流し合ったかを発表する。  　※発表させる際、進行役は、「この本を読んだことのある方は？」など、発表内容を共感的  　　に聞くことができるような声かけをする。  （４　家に帰って、「好きな本年表」をはさんで、子供と話し合う。） | | | | | | |
| 運営上の留意点 | | http://kids.wanpug.com/illust/illust592.png  連続講座での実施をおすすめします。 | | | | |
| 連続講座であれば、事前に各家庭で相談しながら「好きな本年表」を作って  おき、完成した年表を持ち寄って、「どんな会話をしながら作成したか」や  「作ってみてどうだったか」などについて感想を交流し合うこともできます。 | | | | | | |